

『共に生きる』喜び

昨年、皇太子殿下をお迎えし、第6回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」が、「のじぎく国体」に引き続き10月14日から16日まで開催されました。さまざまな障害をもつ選手の元気いっぱいの活躍、それを支えるボランティアの働き、観客の熱心な声援。その大きな感動の輪の中に、私も参加させていただきました。

運動機能障害、知的障害、聴覚障害など、さまざまな障害を克服して、明るく屈託のない笑顔で、生き生きとプレーするその姿に接していると、『共に生きる』喜びをみんなが体感できます。地元の小中学生の参加もありましたが、もっと多くの若者に参加してもらえばという思いがしました。

全国大会だけでなく、各地域においても、障害者と『共に生きる』喜びを実感できる機会が増えれば、すべての子どもたちが自ら生命に感謝し、夢と希望を友と分かち合う、思いやりのある社会が実現できるでしょう。